



北中だより

川口市立北中学校
〒333-0835 川口市大字道合 364-2
TEL : 048-295-1008
FAX : 048-295-6808
HP : <http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/kita-j/>

夢や目標を実現する力を育てる北中学校 令和6年2月21日発行 2月号

生徒数 男子 337名 女子 303名 計 640名 (2月21日現在)

「学び」で繋がるネットワーク

校長 岡安 孝文

1月25日、大雪の影響も残る中、早朝に福岡空港から羽田空港経由で午後1時過ぎに福岡県教育局福岡教育事務所主任指導主事・武田 巨史氏、指導主事・山川 周作氏 2名が本校に来られました。

冒頭、改めて視察に来られた理由について、次のように述べていました。

- ①ポストコロナとなり、現在再び注目が集まっている、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化を目指した「学びの共同体」による学びのイノベーションを肌感覚で感じるため。
- ② 「学びの共同体」をツールとした、学校経営及び学校運営について。
- ③ 学校区（神根地区）・地域と連携しての学校改革について。の3点が主な理由だそうです。

視察後、感想を頂きました。

○武田主任指導主事

この度は、急なお願いにも関わらず視察を承諾して頂きましてありがとうございました。今年度、21世紀に持続可能な学びのイノベーションによる学校経営を主目的として、数多くの学校を視察に訪れましたが、間違いなく、今回が最も生徒と先生が生き生きとした学びで繋がっている風景でした。教育課題が山積している学校なんて微塵も感じられませんでした。一種の感動を得ました。どのクラスの授業も、先生と生徒、生徒と生徒が学びで繋がる空間で満たされていました。特に、本県でも課題となっている3学期受験前の3年生の授業に臨む姿勢ですが、貴校の3年生の授業風景を見て感動しました。理科の授業で授業参観中に遅れてきた生徒がいました。「遅れてきてすみません」と担当教師に挨拶をしてすぐさま学習グループに入り仲間と繋がり課題に取り組んでいました。まるで残り少ない学校生活を惜しむように学びで仲間と繋がり楽しんでいるようでした。きっと、こちらでこの話をしても信じてもらえないかもしれません。また、校長先生は、折角なので職員室の雰囲気も感じてみてくださいと案内してもらい、貴校の職員から生の声を聴く機会を頂き、先生方との会話の端々から生徒への愛情・チームワークの良さを一瞬で感じられました。……

そして1月30日には、雲一つない冬晴れの穏やかな日に恵まれた中、今年度、本校の第2回「学びの共同体」公開研究会が開催されました。北は山形県・宮城県、西は岐阜県・大阪府等、全国各地から数多くの先生方に参加していただきました。本校独自の静かな授業研究会が、こんなにも広くそして多くの学校・先生方と学びで繋がる研究会へと発展するとは信じられない思いです。それもこれも、佐藤 学 東大名誉教授のご指導、地域・保護者のご理解ご支援、学びのイノベーション先進校の協力、そして何よりも誰一人取り残さない教育の具現化に向け一生懸命取り組んでくれている教職員と素直で優しい生徒たちの変容による結果です。

参加された先生方の感想は、どの先生も感想用紙一杯に書き込んであり、全職員で共有させて頂きました。

【抜粋】

○北中での子ども達の学び合う姿を是非本校でも取り入れていきたい。

○チャイムと同時に学びに入る心地よさ、教師の話がシンプル、それがゆえに最後まできちんと話を聴く子ども達であること、何よりも授業中に子どもたちの表情に学びと満足感があり、その姿に学校一丸としての意気込みや思いを感じることができた。

○「自分の力」という言葉は、これまで自分一人の力と考えていましたが、他者に依存できる協働できる姿も含

- まれている事を授業のなかで気づかせていただいた。
- 本校でも50分間全力で学びに向かう子どもを育てていきたい思います。
- 各授業とも課題設定が素晴らしく、生徒全員が思考している沈黙の中に学びがある風景を見ることができ勉強になった。
- 夏にお伺いしたときよりも学校が落ち着いているのに驚きました。特に2年生の授業に取り組む姿勢の変容に、この授業改革が確実に成果をあげていると確信しました。
- パワーをもらうために岐阜県から参観させていただきました。北中の授業改革を柱とした学校改革の一端に触れさせていただき、できない理由ではなくできるためにやれることを考え行動することが大切だと痛感しました。
- 3年生の明るさと心の開放感に心打たれました。先生方も自由な発想で考え実行できる学校風土があると感じました。
- 私たちの教師としての最も肝心なことは、誰一人取り残さない学びへ繋げることだと再確認しました。世間は、当然目に見える学力の数的な成果を要求するでしょう。校長先生にその話を投げかけたら、「当然、数的成果も念頭に置いています。それは、自ずと次へのステップとして発展し繋がると確信しています。大切なことは、誰一人取り残さない学びの学校風土を築くことから始めることです。そうでなければ、生徒に正しい教育をしたと言えないと思っています・・・」慌てずブレず、そして厳しい課題からも目を背けず、学校経営にあたっていると強く感じました。

さらに、2月2日埼玉県中学校長会全体会が埼玉会館でありました。そこでの塚田昭一氏（元国立教育政策研究所学力調査官・現小学校学習指導要領解説書作成協力者）の「個別最適な学び」と「協同的な学び」の一体的な充実に向けた授業改善の視点という題目の講演の中で、現学習指導要領並びに次の学習指導要領において目指すべき授業改善の例として本校並びに神根地区小中連携による学びのイノベーションを紹介してくれました。突然の出来事だったので大変驚きました。国・県の教育改革の中枢を担っている方からの発言でしたので、励みになりました。これからの授業は知識詰め込み型の授業ではなく、生徒が自ら学びに向かう学びで繋がる授業に意識転換しなければならないとして、映像で昨年度より取り組んでいる県の推進校の授業の様子を流してくれました。どの授業も本校と同じく全て男女交差しての4人組の学びで繋がる授業形態でした。

本校の学びのイノベーションによる学校改革は、まだまだ始まったばかりです。

【NEXT ONE】

「学び」で繋がれたネットワークを充実させ、未来を担う子どもたちのために、地に足をつけ慌てず挫けず一歩一歩学校改革を推進していきたいと考えています。

2月 行事予定

21	水	学力検査
22	木	実技検査、面接
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	《B週》
27	火	
28	水	学年集会(2年) 3年校外学習
29	木	1・2年期末テスト①

3月 行事予定

1	金	1・2年期末テスト② 入学許可候補者発表
2	土	
3	日	
4	月	《A週》追検査
5	火	期末短縮 45分授業① 生徒集会⑩
6	水	追検査入学許可候補者発表 グリーンデー⑩ 期末短縮 45分授業②
7	木	3年生を送る会
8	金	期末短縮 45分授業③ 2年校外学習
9	土	
10	日	
11	月	《B週》
12	火	卒業式予行 234限
13	水	専門委員会⑤最終
14	木	3年給食最終日 卒業式準備(午後)
15	金	卒業証書授与式
16	土	
17	日	
18	月	《A週》全校集会⑤ 生徒会委員長会議⑤最終
19	火	1・2年授業参観&期末保護者会
20	水	春分の日
21	木	期末短縮 45分授業④
22	金	1・2年給食最終日 期末短縮 45分授業⑤
23	土	
24	日	
25	月	《B週》大掃除【新入生1日入学】
26	火	修了式